

第17週の発生動向(2008/4/21~2008/4/27)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において第45週から、むつ保健所管内では、第48週から**警報**が続いています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、東地方+青森市保健所管内において第8週から、弘前保健所管内では第10週から**警報**が続いています。

第17週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ	1	0.07			1	0.07			2	0.22			4	0.06	-2			1	0.08	
(74) RSウイルス感染症									4	0.67			4	0.10	4					
(75) 咽頭結膜熱	5	0.56	8	0.89			1	0.20	8	1.33	12	3.00	34	0.81	0	2	2.00	3	0.38	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	4.78	24	2.67	4	0.44	4	0.80	9	1.50			84	2.00	5	5	5.00	38	4.75	
(77) 感染性胃腸炎	128	14.22	67	7.44	14	1.56	22	4.40	41	6.83	14	3.50	286	6.81	-28	19	19.00	109	13.63	
(78) 水痘	10	1.11	23	2.56	6	0.67	12	2.40	8	1.33	1	0.25	60	1.43	-6			10	1.25	
(79) 手足口病															-1					
(80) 伝染性紅斑	1	0.11	1	0.11	4	0.44							6	0.14	-1			1	0.13	
(81) 突発性発しん	3	0.33	3	0.33	3	0.33	1	0.20	1	0.17	3	0.75	14	0.33	-6			3	0.38	
(82) 百日咳					2	0.22							2	0.05	2					
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(83) ヘルパンギーナ			1	0.11	1	0.11							2	0.05	1					
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.22			2	0.22	1	0.20					5	0.12	-1			2	0.25	
(86) 急性出血性結膜炎															0					
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00							4	0.36	0			2	1.00	
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	3	3.00					1	1.00	5	0.83	0					

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前18人、八戸2人、五所川原5人

(20年計:148人)

感染症の窓

百日咳

警報レベル保健所あり



14週



15週



16週



17週

図 国内の百日咳の警報発令状況 (第14~17週)

国立感染症研究所は、本疾患の成人患者が増加していることを発表しました(4/29)。感染症発生動向調査第17週では、北海道、埼玉県、千葉県、福井県、広島県、福岡県において、警報が発令されている保健所があります(図参照)。青森県第17週では、八戸保健所管内において、2人の届出があり、昨年同時期に比べ2倍の届出人数です。本疾患は、**特有のけいれん性の咳発作**を特徴とする急性気道感染症ですが、成人の場合は、長引く咳というだけで、症状が軽いいため、気づかぬうちに、乳幼児へ感染させてしまう可能性もあります。抵抗力が弱い**乳幼児**では、**痙攣などを引き起こし、重症化することもあるため**、成人で2週間以上の咳が続くような場合は、感染を疑い、早めに医療機関を受診することが重要です。ワクチン接種については、保健所や医療機関へ相談することをお勧めします。